

AAF NEWS

VOL.4

2009
SPRING

ご協力をいただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

CONTENTS

NEWS

TOPICS

西宮国際交流デーにてバザー・パネル展示を行いました

SITE REPORT1

フィリムの2期工事(寄宿舎・食堂棟)の現場を視察しました

SITE REPORT2

カニヤ・キャンパス・ポカラ「さくら寮」を訪問しました

COLUMN

AAF PROFILE ・ INFORMATION

AAF Asian Architecture Friendship



Buddha Primary & Secondary School/ 授業前に教室でたわむれる子供たち

NEWS

ネパール・フィリムの学校の奨学生から松浦輝夫氏へ感謝状が贈られました

フィリムの学校で奨学金制度を設立し、遠隔地からの寄宿生に食費等の支援を続けている松浦輝夫氏(大阪市)に感謝状が贈られました。

>次ページに詳細を掲載

ネパール・フィリムの学校の奨学生から松浦輝夫氏へ感謝状が贈られました

フィリムの学校で奨学金制度を設立し、遠隔地からの寄宿生に食費等の支援を続けている松浦輝夫氏(大阪市)に感謝状が贈られました。

श्री मानुष्या श्री
 विषय : प्रशंसा पत्रिकाको बारे
 मलेख, उर्वरको सम्बन्धमा हामी वस्तु श्री बुद्ध आवाशि-
 य मा: वि छात्रावासीमा कसरी वास्तु गर्दै आएका विद्यार्थीहरू
 र्ना। हामी आर्थिक अवस्थाले हामी बलै प्रान्त आकाश
 पढ्न अनुमति थियो। नपाईको सहयोगले हामीले उच्च
 शै आर उच्चको गर्दै गर्दा अवस्थु पाएका छौ। हामी
 लई स्थापना उपायको अवस्थु श्री सुवर्ण कवच
 प्रदान गर्दै प्रयोगमा हामी हृदयकृति प्रशंसा गर्दछौ।
 अथ प्रविद्यामा हामी सम्बन्धमा समाधान गर्दै हामीले
 गर्दै अगाडि वगडु हुने प्रती उर्ण आशा गर्दछौ। नपाई
 लकी श्री सुयोग र वरु प्रान्तलाई हामी कहि ह्यै
 विषय प्रकृति।
 अलमा बलैको सुयोग र वरु प्रान्तका उच्च
 मुल्याङ्कन गर्दै हामी वस्तु छात्रावासीमा कसरी वास्तु
 गरि हामी सुयोग काज छात्रावरु हार्दिक प्रशंसा
 गर्दछौ।

感謝状原文

松浦 様
 私たちはブッダ・スクールの寮に宿泊しながら勉強をして
 いる学生達です。
 私たちは経済的にはここまで来て寮に泊まりながら勉強
 を続けることは不可能なことでした。
 皆様のご協力のお陰で教育を得ることが出来、暗いところ
 から明るいところに移動する機会が出来ました。
 私たちに必要な食料を提供していただいて大変感謝して
 います。将来も私たちの問題を理解していただきこの交
 流を続けていくことを祈っています。
 皆様のご援助ご協力を何時までも忘れられません。
 最後に松浦様のご協力に対して私たちこの学校の学生達
 皆は大変感謝をしております。

感謝状の訳文

昨年12月28日、朝礼の場で生徒の手から上記の感謝状が贈
 られました。
 松浦輝夫氏はフィリムのブッダ・スクールが開校した2003
 年に奨学金制度を設立、翌2004年から、選抜された30名の
 奨学生に対して食費等の支援を続けています。今年で5年が
 経過し、新たに入学した奨学生たちから「ぜひ感謝の気持ち
 を伝えたい」ということで、2期工事の現場監理に訪れたAAF
 メンバーが代理で感謝状を受け取りました。



感謝状を受け取る AAF メンバー

TOPICS

西宮国際交流デーにてバザー・パネル展示を行いました

AAF NEWS VOL.2でもご紹介した、西宮国際交流デーに、
 今年も出展しました。AAFは、活動の紹介と、古着、パシュミ
 ナストール、「ヒマラヤに学校を建てよう！」(彰国社刊)の販
 売等を行いました。今年は天候にも恵まれ、例年以上にたく
 さんの老若男女、多国籍の人々が来場し、どのブース、イベン
 トもおおいに賑わっていました。
 売上は学校建設費用の一部にあてさせていただきます。



AAF のブース



消防署のキャラクターもやってきました

SITE REPORT 1 from Philim in NEPAL

フィリムの2期工事(寄宿舍・食堂棟)の現場を視察しました

Buddha Primary & Secondary Schoolの2期工事(寄宿舍・食堂棟建設)の現場を昨年12月下旬に、AAFメンバーが視察しました。

>次ページCOLUMN参照

今春の竣工へ向けて、工事の進捗状況、工事費の確認と、細部の納まりについて現場監督と打合せすることが今回の視察の目的です。1期のときと比べると工事は順調で、ほぼスケジュール通りに進んでいましたが、まだまだ油断はできません。まだ現場に入っていない材料のチェックや、運搬スケジュールの確認も行い、今後も定期的に現場の状況を報告するよう依頼しました。



工事現場の全景



寄宿舍の工事状況 外壁がほぼ完了し、屋根を架け始めています



食堂棟の工事状況 曲面の壁がほぼ全て立ち上がりました

SITE REPORT 2 from Pokhara in NEPAL

カニヤ・キャンパス・ポカラ「さくら寮」を訪問しました

ネパールの僻地に女性の教育者を育てるために建設されたポカラのさくら寮をAAFメンバーが訪問し、フィリムのBuddha Primary & Secondary Schoolを卒業してここで学んでいる2人の女子学生と面会しました。1人は2007年に入寮したフィリム出身のウルミラさん。彼女のお父さんはフィリムで学校建設の仕事に携わっています。もう1人は2008年に入寮したルムチェット出身のランジャンさん。2人とも卒業後はフィリムの学校に教師として赴任する予定です。



ウルミラさん(左)とランジャンさん

アジアに学校等をつくるための寄付にご協力ください

AAFは、学びたくても学ぶことができないアジアの子どもたちのために学校と寄宿舍等の教育関連施設をつくるボランティア活動を推進しています。現在、2003年に開校したネパール・フィリム村のBuddha Primary & Secondary Schoolの隣接地に遠隔地から通う子供たちのための寄宿舍の建設を進めていますが、必要数の寄宿舍、教員のための宿舎をすべて完成させるためにはあと約350万ルピー(約420万円)の建設資金が必要です。

皆さまのさらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

>>>寄付の方法

払込取扱票の通信欄に「寄付」とご記入の上、郵便振替にてお振込ください

訂正とお詫び

VOL.3に掲載した、大阪府堺市の「自由都市・堺 平和貢献賞」受賞の記事で、JNFEAの名称を「日本ネパール女性教育教会」と表記してしまいましたが、正しくは、「日本ネパール女性教育協会」です。訂正してお詫びします。

COLUMN

フィリムの現況と新たな課題

私たちが現在Buddha Primary & Secondary Schoolの2期工事(寄宿舎・食堂建設)の建設支援を行っているフィリムはヒマラヤ山麓の標高約1600mにあります。

1999年に初めて現地を訪れた時は、車が通れる道のある町から歩いて3日、上下水道はもちろん電気も電話もないまさに陸の孤島のような村でした。

2003年に1期工事の小・中・高校の校舎が完成した2年後、水力発電が稼働し始め、夜間に限りわずかながらも電力供給がされるようになりました。とは言え、まだまだ一般の村民の住まいに照明器具が設置できるような状況ではなく、公共的なごく限られた施設でのみ電気が使用されているというのが実態です。電話は衛星電話の発達により、2年前に村にパラボラアンテナが設置され、村民共有の電話が1台使えるようになりました。これは大きな進歩です。これまでは現地へ行くか、書面を人力で持ち運んでやりとりするしか連絡の手段がなかったのが、なかなかつながりにくいとは言え、カトマンズから連絡がとれるようになりました。また道も少しずつ整備され、今では車が通れる道のある町から歩いて1日半で行けるようになりました。

学校が建設されたことをきっかけに、フィリムはこの地域一帯の中心的な村として、徐々にではありますが、発展しつつあります。まだまだ十分とは言えませんが、親たちも子供に教育を受け

させようという意識が高まりつつあります。来年度にはフィリムの学校の卒業生がポカラでの2年間の勉強を終えて、初めてこの学校に教師として戻ってくる予定です。彼女の父親は農業の傍ら、この学校の建設工事にも携わっています。自分の父親が汗を流して建てた校舎で学び、今度はその校舎で教師として次の世代の子供たちを教育していくことに彼女は強い意欲を持っています。村の実態や教育の必要性を肌身で感じている彼女のような教師が今後も増えてくることで、この地域が近い将来自立していくことを期待したいと思います。

ただ一方で村の発展にともなって、ゴミが増えてきたことも事実です。人の行き来が増えてきたことで、露店でセロファン包装のビスケットやインスタント麺類が売られるようになり、それらのゴミが道に散乱している光景を何か所かで目にしました。今後はこういったゴミの回収システムや、環境整備への教育が新たな課題となっていくでしょう。

発展が環境破壊へつながるような悪しき循環をどう解決していくか。私たち自身も真摯に考えていかなければならない問題です。

AAFメンバー 野田隆史



AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に発足した民間ボランティア団体です。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィリムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

AAFの活動と実績

- 2003.04 ネパールのフィリムに'Buddha Primary&Secondary School'竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう！建築家のボランティア奮闘記」(彰国社)を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動ーヒマラヤの学校建設ー」展を開催(ギャラリー エークウッド/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤ・キャンパスポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出展
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィリムの学校、ポカラの「さくら寮」がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08 フィリムの学校が韓国の建築雑誌'C3'に掲載
- 2008.08～ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出展
- 2008.10 フィリムの学校がタイのデザイン雑誌'art4d'に掲載
- 2009.05 フィリムに寄宿舎と食堂棟、便所棟が竣工予定

INFORMATION

AAF会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご支援・ご協力によって成り立っています。

会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置づけられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。会員になっていただいた方には会報「AAF NEWS」をお送りさせていただきます。

ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

>>>入会方法

払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

>>>会費

一般会員：1口 5,000円(年額)

法人会員：1口50,000円(年額)

AAFへの郵便振替は下記口座をお願いいたします

>>>口座番号:00910-0-64819

>>>加入者名:AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報(AAF基金運用の目的以外)で使用いたしません

編集後記

フィリムの2期工事は着々と進んでいます。コツコツ積み上げてきた活動が、再び花開くのももうすぐ。これも皆さまのご支援のおかげです。ありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願ひします。T